

2部リーグ優勝

女子ハンドボール部1部リーグ昇格



全員で掴んだ1部リーグ昇格

4月3日から7月2日、体育会女子ハンドボール部が、駒沢オリンピック公園などで2022年度関東学生ホッケー春季リーグ戦が行われた。本学



勝利の瞬間、歓喜するイレブン

2部リーグでは、横浜国立大学、東京大学、東京女子大学、津田塾大学、防衛大学の5試合を勝ち抜き、最終日の学習院大学との入れ替え戦で接戦を制した。また、2部リーグのベストイレブンおよび最優秀選手に福島結菜さん(理物4)、ベストイレブンおよびGKレブンおよびGK

王に高橋カレンさん(文史4)、ベストイレブンに吉川美帆さん(総看4)が選ばれた。主将の福島結菜さんは「最終戦の学習院大学との入れ替え戦では、0対0で試合終了を迎え、S O(シュートアウト)戦にもつれこむ苦しい展開となりました。しかし、全員が自分たちの勝利を信じて応援し、GKと5人のシューターの活躍のおかげで勝利をつかみとることができました。勝利が決まった瞬間に、チームメイトと抱き合ったあの感動は一生忘れられません。私たちは、他大

ひと 男子ラクロス世界選手権大会5位



経済学部 経済学科 4年

竹田 雄介さん

8月にアイルランドで行われた男子21歳以下ラクロス世界選手権大会で、日本代表選手として5位入賞という輝かしい成績を残した竹田雄介さん(経済スケットボールに打ち込4)。競技歴わずか2年足らずで日本代表の座を勝ち取り、体育会男子ラクロス部では主将としてチームを牽引する。バイタリティー溢れる原動力に詰まっていた。好奇心旺盛で、水泳、テニス、バドミントン、将棋と興味をひかれるものには一通りチャレンジ

「ひとこと」ということで、ラクロス部の見学に行きたいという友人に誘われて参加した。最初は、ラクロスという競技は大学から始めた。次のチャンスは必ずものにすると心に決めた。19年4月、新入生として参加した。しかし、ラクロスという競技は大学から始めた。次のチャンスは必ずものにすると心に決めた。19年4月、新入生として参加した。しかし、ラクロスという競技は大学から始めた。次のチャンスは必ずものにすると心に決めた。

持前の好奇心と集中力、着実に腕を磨いてきた竹田さんだったが、万事順調という訳ではなかった。新人戦で関東3位という好成績を残しながらも、19歳以下の日本代表に召集されず、初めての挫折を味わった。「結果を出していたのに、80人も部員を束ねる主将という重責も、彼に託された。成長の機会となった。チームの一体感にバラつきを感じたときに、一人一人のメンバーと向き合い、ビジョンを共有して激励した。「仲間を信じて任せることで、理想の姿と自分の姿を常に照らし合わせることを怠りません。小さな成功体験を積み重ね、大きな挑戦へのモチベーションとなっていく」と語った。

3年ぶり対面開催決定 第76回ソフィア祭 11月1日~4日



実行委員長 竹田さん

課外活動団体のソフィア祭実行委員会が、今年で76回を迎えるソフィア祭(学園祭)を、11月1日から4日にかけて3年ぶりに対面で開催する(11月1日は前夜祭)。今年のテーマは「WITH」。多くの在学生、OBOG、ゲストや来場者、さらには未来の上智生と「一緒に」ソフィア祭を盛り上げてい

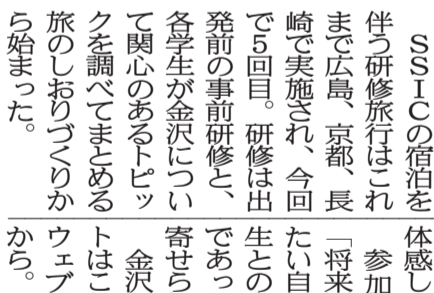


本祭では、ゲストによるトークショー、学科模範授業などに加え、昨年一昨年のオンライン開催でも盛り上がりを見せた「Sophian's Got Talent」「Sophian's Contest」の2つの目玉イベントが予定されている。どちらも、2020年の新設以降、模擬店の各企画に参加を表明した。

「Sophian's Got Talent」では、「上智大学から未来のスターを発掘しよう」というコンセプトのもと、候補者が自らの特技や活動をアピールし、優勝者を「ソフィアアンバスター」として表彰する。

「Sophian's Contest」の竹田満音さん(理物3)は、「2年間のオンライン開催で培った映像技術などのノウハウを存分に活かし、日頃活動に励む団体や上智生の魅力を伝えられる企画を準備しています。参加団体だけでなく、多くの来場者の方と一緒に作るソフィア祭が今年の目標です。是非お気軽にご来場ください」と呼びかけた。詳細はウェブサイトから。

SSIC2年ぶりの研修旅行 金沢で学生交流、日本の歴史・文化を学ぶ

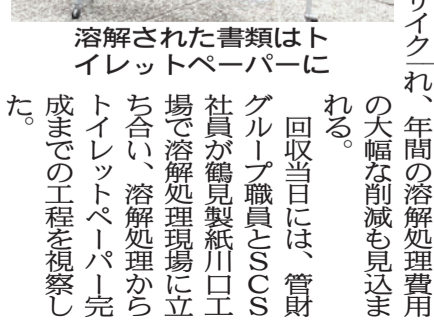


落雁作りに奮闘

SSIC(Sophia Student Integration Commons)は、8月6日と7日の1泊2日で、川島金沢市で2年ぶりの研修旅行を開催した。日にとって特別な思い出をつくる場となった。

SSICの宿泊を伴った研修旅行はこれまで広島、京都、長崎で実施され、今回で5回目。研修は出発前の事前研修と、各学生が金沢について関心のあるトピックを調べてまとめる旅のしおりづくりから始まった。

溶解処理後の機密書類がトイレットペーパーに再生



溶解された書類はトイレットペーパーに再生

本学では、ソフィアキャンパスサポート(SSC)協力の下、学内で回収した機密書類を溶解処理し、学内使用のトイレットペーパーにリサイクル、年間の溶解処理費用の大幅な削減も見込まれる。

溶解した書類を原料に使用することで森林保護に貢献するとともに、SDGsの「持続可能な方法で生産し、責任をもって消費する」という目標実現に向けた取り組みにもつながっている。

金沢での1日目は城下町の見学に加え、老舗菓子店での落雁作りや金箔貼りを体験した。学生同士が助け合いながら互いの距離を縮めた。

2日目は、加賀藩の歴史ともいえる金沢城と歴代藩主が慈しんだ兼六園を見学。その後、2004年に開館した金沢21世紀美術館で現代アートを体感した。

参加した学生からは「将来国際社会で活躍したい自分にとって、留学生との交流は大変有意義であった」などの感想が寄せられた。

回収当日には、管財グループ職員とSSCS社員が鶴見製紙川口工場で溶解処理現場に立ち合い、溶解処理からトイレットペーパー完成までの工程を視察した。